



森林ボランティア

「オホーツクの会」だより No.37

冬の自然観察会・ポンポン山

真冬なのに雪がない！

2月19日(日)、一般参加を含めて49名が参加する中で冬の自然観察会「ポンポン山(弟子屈町)」を行いました。

「天気は良いものの風速10m以上」という気象予報でしたが、現地は林内で沢地が多いこともあって、穏やかな天候での散策となりました。

8班に分かれスノーシューを履いて、シラカバ林やトドマツ人工林を進むこと約1時間30分、あちこちで蒸気の上がっているポンポン山に到着です。



ポンポン山は、山というよりも小高い丘のような地形で、阿寒国立公園に指定されているアトサヌプリ(硫黄山)火山群に含まれ、地面を強く踏むと「ポンポン」と鳴ることからそう呼ばれているとのことです。

エゾシカの食痕



暖かさに誘われてなのか、緑の食材を求めてなのかはわかりませんが、エゾシカの痕跡(足跡・フン・食痕)が大量にあり、自然界の成り立ちに思いをはせました。

その後、川湯エコミュージアムセンターで少し遅めの昼食を食べ北見への帰途につきました。

森林に癒やされ…

天気予報では「晴れだが風が強い」となっていたので、ダウンコートを着て、ホッカイロを3個、暖かくして出かけました。

途中、立ち寄った美幌峠はものすごい風で地吹雪模様でしたが、開会式を終え、スノーシューを着けて入ったマツやカバの茂る森の中は、風は弱く、道は踏み跡があってとっても歩きやすかったです。



普段は家事に追われて、自然に目を向けることがほとんどありませんので、一歩森の中に入ると、何とも言えぬ清々しい空気と静寂さに癒やされて、ガイドさんの説明を楽しく聞きながら約2kmの道を散策しました。

ポンポン山に着くと、真冬なのに直径80mくらいが雪が溶け、赤茶けた地肌が出ていて、所々で湯気が静かに出ていました。



バスの中で説明されたコケやもののようなものや鹿の糞などが地面にあり、鈴虫(コオロギでした)の鳴き声も聞こえたような気がしました。

お世話になりましたボランティアガイドの皆様、ありがとうございます。

中野 富美子



【なるほどクイズ】

枝打ち(枝払い)をする第一の目的は「節の少ない木材を作ること」ですが、枝打ち(枝払い)をすると木の成長は早くなるでしょうか?それとも遅くなるでしょうか?(答えは会報のどこかに…)



あっという間の2時間

今シーズン始めたスノーシュー、4度目は友人からの誘いでした。

8班に分かれ、それぞれガイド付きの贅沢コース。



森林の仕組みや木の特徴、香り、時々見られる動物の足跡から冬を生き延びる行動を想像してポンポン山へ向かいました。

地熱で雪のない景色が新鮮でした。皆さんの見守りの中、あっという間の2時間を満喫しました。

他にも楽しいイベント企画があるようで…誘ってくれた友人と「オホーツクの会」に入会します…よろしくお願いします。

奈良 真紀子

冷や汗が…(˘_˘:)

ガイドをさせてもらいましたが、結果は…チームに加わっていただいた皆さんに申し訳ない気持ちです。

あちこちにいろいろな野生動物の足跡を見ることができ、厳しい冬の間も活発に活動していることがわかりました。

ツル性植物も種類ごとにそれぞれの登り方で樹木に取り付いていました。

途中に枯れた植物の一部が落ちていて、カシワの葉やオオバボダイジュの羽根つきのタネを見つけた時には得意げに説明しましたが、ツルアジサイとノリウツギの花を取り違えて説明し、後でそれに気づいた時には冷や汗がでました。



不勉強を思い知らされました…次回はがんばります。

小林 洋幸

平成 28 年度総会

10 年目…もっと楽しもう！

3月11日、常呂川森林ふれあい推進センター2階会議室で22名の参加により平成28年度総会を行いました。



冒頭、会長から「会を結成して10年目になります。【森林とのふれあいを楽しみながら、森林について学び、森林作りを手助けし、仲間の輪を広げる】という結成時の志を胸に、活動の質・量ともに高めていきましょう。」とのあいさつがありました。

その後、来賓として常呂川森林ふれあい推進センター川淵所長からあいさつを受けて、議事に入りました。

その中では、「来年の総会で結成10年であり、記念行事を検討」「夏の間、土・日以外の活動を企画」「活動の充実を図るため副会長を2名とし、栄さんを選出」などを確認しました。

また、常呂川FC川淵所長から「林業白書」について、「白書」の由来を含めて「日本の森林・林業について」の話がありました。

【新役員】



渋谷朝美さん

会に入ってまだ1年足らず、何をしたいのかわかりませんが、「賑やか師」としてがんばります。

皆様のご協力をお願いします。

役員体制

役職	氏名
会長	鞆師 守
副会長	角 良和
〃	栄 平男
事務局長	吉田 昭義
幹事	長谷川 秋夫
〃	小原 励
〃	植村之彦
〃	小島 愼
〃	吉田 正
〃	轡田 恵美
〃	渋谷 朝美
監査	金村 輝雄
〃	小川 三郎

こっそりやって炭ません

昨年10月下旬のことです…「化粧炭（化粧炭）を作ってみよう！」と言いだした人がいて、その話に乗った数名が炭焼き経験がある小島さんを先生にして炭焼き体験をしました。

スチール缶に材料を入れ、フタに穴を空け、その下で薪を燃やすこと約1時間で完成しました。（写真）

次回は、正式（？）に炭焼き体験会をやりま〜す！と炭化（タンカ）を切ったりして…。



「あんなこと、こんなこと、いろいろなことをやってみよう！」 オホーツクの会はそんなみなさんの希望も受けて活動します。賛同者が自分を含めて2人いればやれる！かも…。

隊員募集します！

3月30日に行った第1回役員会の中で「会の活動充実と活動の幅を広げるため【隊】を作ることとしました。隊員は、会員の皆さんです。別紙により申込み下さい。（重複OKです）

- ◆自然に学び隊 隊長 吉田 昭義
オホーツクの森や北見市内の公園などで森林散策、自然観察。
- ◆炭づくり隊 隊長 小島 愼
化粧炭（化粧炭）の作成。（将来的には本格的炭職人？）
- ◆クラフト研究隊 隊長 吉田 昭義
木工クラフト、自然素材のクラフト作りやみんなで楽しめるクラフト作りの研究・開発。
- ◆竹とんぼ隊 隊長 長谷川 秋夫
竹とんぼづくりを学び、イベント時などには子供たちへの作成指導。



【なるほどクイズ】(答え)

木(植物)が成長するのは葉で行う光合成産物によるものですから、枝打ち(枝払い)をして葉が少なくなると成長は遅くなります。

それでも枝打ちを行うのは、①節の少ない木材を生産する ②通直(幹の上部・下部の太さの差が少ない)な木材を生産する ③林内に風・光を入れることにより、病虫害を防ぎ、下層植生の成長を促す…災害に強い森林・生物の多様性に結びつくなどの目的があるからです。



日程・バス借上げ・内容等については、流動的な要素があります。変更の場合、参加申込みをいただいた方へは連絡させていただきます。

※ 申し込みは、別紙申し込み用紙を活用下さい

○第1回自主活動(5月~10月、第2火曜日)

日時 平成29年5月9日(火) 9:30~

場所 「森の家」集合

内容 「森の家」周辺の環境整備、炭焼き体験、自然観察他

持ち物 作業できる服装、炭焼き材料、持ち帰り用小箱、昼食、飲み物他

★スチール缶(蓋付き)があればお持ち下さい

申込み 4月27日(木)まで

○春のパネル展(常呂川FC共催)

日時 平成29年5月17日(水)~21日(日)

16日 13:30~ パネル等展示作業

20~21日 9:30~ クラフト作成、ミニ散策会

場所 北見市 緑のセンター

申込み 参加協力できる方は5月11日(木)まで

○第2回自主活動

日時 平成29年5月27日(土) 9:30~

場所 「森の家」集合

内容 「ふれあいの森(展望台周辺)」、「森の家」周辺の環境整備、自然観察他

持ち物 作業できる服装、昼食、飲み物他

申込み 5月18日(木)まで

○森の味 (魅) 力を感じよう！ (常呂川 FC 主催)

日 時 平成29年5月28日 (日) 9:00~
常呂川 FC よりバスが出ます (8:30 発)
場 所 「森の家」周辺
内 容 山菜・野草の調理、試食他
持ち物 森林散策・山菜採取できる服装、昼食、飲み物他
申込み 5月18日 (木) まで

○第3回自主活動 (5月~10月、第2火曜日)

日 時 平成29年6月13日 (火) 9:30~
場 所 「森の家」集合
内 容 「ふれあいの森 (展望台周辺)」、「森の家」周辺、ボランティア育樹会場の環境整備、自然観察他
持ち物 作業できる服装、昼食、飲み物他
申込み 6月6日 (火) まで

○第14回ボランティア育樹 (実行委員会主催)

日 時 平成29年6月15日 (木) 10:00~
常呂川 FC よりバスが出ます (8:45 発)
場 所 オホーツクの森
内 容 アカエゾマツ人工林の枝払い (小学生への指導)、森林散策等
持ち物 作業できる服装、飲み物他
申込み 6月6日 (火) まで

○第4回自主活動

日 時 平成29年6月18日 (日) 9:30~
場 所 「森の家」集合
内 容 「ふれあいの森 (展望台周辺)」、「森の家」周辺の環境整備、自然観察他
持ち物 作業できる服装、昼食、飲み物他
申込み 6月9日 (金) まで

○オホーツクの森林づくり (自然再生協議会主催)

日 時 平成29年6月25日 (日) 9:00~
常呂川 FC よりバスが出ます (8:30 発)
場 所 オホーツクの森
内 容 カミネツコン植樹箇所の手入れ、森林散策他
持ち物 作業できる服装、昼食、飲み物他
申込み 6月15日 (木) まで

緑の募金などの活動を行っている「北海道森と緑の会」（理事長：堀達也）の助成（平成 29 年度「森と緑の会緑化公募事業」）が採択されました。

なお、平成 29 年度のオホーツクの会で行う「緑の募金活動」については、街頭募金キャンペーン（4 月 24 日、北見駅前広場他）をスタートとして、パネル展の会場等で行いますのでご協力よろしくお願いします。

会費の納入のお願い

ご承知のとおり当会は皆様からの会費を基に活動を進めており、滞納者が増えると運営に支障を来すことが避けられません。

年会費を滞納し続けた場合は、継続の意思がなく退会と判断せざるを得ません。

心当たりの方はよろしくお願いします。



— 納入方法 —

- ・ 総会で納入
- ・ 常呂川森林ふれあい推進センター内の事務局に納入（月曜～金曜（祝祭日は除く）8：30～16：30）
- ・ 会が開催・参加するイベント時に納入（会報等でご確認ください）
- ・ 会の郵便局口座に振り込む（手数料がかかります）

振込先口座 19960-8073231

森林ボランティア「オホーツクの会」



お問い合わせ

北海道森林管理局
常呂川森林ふれあい推進センター内
森林ボランティア「オホーツクの会」事務局

〒090-8588 北海道北見市北斗町3丁目11-3

TEL 0157-23-2960

FAX 0157-26-2144